水田センサーを活用した湛水直播栽培支援（留萌農業改良普及センター）

背　景

【羽幌町の概要】

〇農家戸数の減少により、1戸あたりの水稲作付面積の増加が顕著となっている

〇農業従事者も減少しており、水稲栽培の省力化に向けた農家の期待は大きい

【地域の課題】

〇普及センターの重点対象地域では、水稲の疎植栽培に取り組んでいたが、さらなる省力化を目指して、令和2年度から湛水直播栽培に取り組む事とした

〇湛水直播栽培は町内で10年ほど前から行われていたが、苗立不良や雑草の被害で、移植栽培並みの収量が確保できず、栽培面積が減少傾向だった

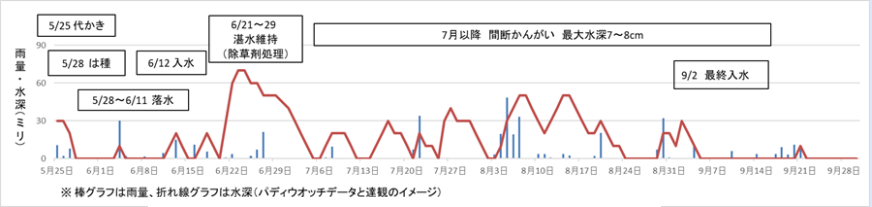
〇そのため、直播栽培の安定生産技術の確立が課題となった

普及活動内容

〇湛水直播栽培の安定生産に向けた施肥、は種や水管理について技術支援を行った。

〇ホクレンと連携して、直播ほ場に「パディウオッチ（水田センサー）」を設置。普及センターは農家と情報共有して、水管理の支援に活用した

水深データがスマホで確認可能！



は種から収穫までの水管理データを研修会で活用

普及の成果

【具体的な成果】

〇適切な水管理で、苗立ち本数178本/㎡（基準は150本/㎡以上）を確保できた。

〇減水深を確認して除草剤を処理することで、雑草の発生を抑制できた

〇初年目の目標収量の94%を確保できた

【成果のポイント】

〇見える化した水深データを、農家と共有して水管理を支援したこと

直播ほ場の収穫風景

（連絡先：留萌農業改良普及センター　TEL　0164-62-1779）